

平成19年産米共同計算精算内容(コシヒカリ1俵当たり平均単価)

1. コメント

平成19年産米については、当初概算金を全銘柄一律7,000円でスタートし、平成20年12月25日までに3回の追加払いを行い、JA米1等コシヒカリで生産者手取額は12,300円となりました。

全国的な作付け過剰かつ大豊作の予想、入札制度の変更に伴い、当初から大幅な価格下落が想定されていましたが、本県産コシヒカリの入札価格は過去最低の13,552円(JA米1等)となる中、販売先確保と早期に追加払いを実施するために相対契約の積み上げに努力して参りました。

なお、1俵当たりの未精算金51円につきましては、翌年産共同計算へ繰り越し翌年産米の精算財源に充当します。

2. 精算状況

(税込・円)

区分		19年産 精算結果	18年産 精算結果	19年産 経費目標額	18年産 結果対比	増減理由	
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア) - (イ)		
収入	販売高	13,769	15,102				
	受入金利	4	3				
	国からの助成金	0	0				
	その他収入	37	84				
	前年産繰越	11	10				
	収入計 (A)	13,821	15,199				
支出	概算金償還 (B)		11,307	12,838			
		概算金金利等	85	82	127	3	金利の利上げによる
		保管料	273	352	450	-79	早期販売に努めたことによる
		運賃	299	281	329	18	
		安心安全対策費	11	23	24	-12	
		集約保管経費	88	93	82	-5	
	流通・保管等に係る経費		756	831	1,012	-75	
	事故処理経費		30	30	30	0	
	手数料		155	162	158	-7	
	事務費 (米政策事務費)		0	54		-54	米政策は18年産で終了
		JAへの支出経費	99	111	133	-12	
		広告宣伝等経費	26	63	120	-37	経費圧縮に努めたことによる
		その他経費	0	0	0	0	
	生産・集荷・販売等に係る経費		125	174	253	-49	
	県産米推進協議会経費		30	31	21	-1	
	監査委員会費用		0	0	1	0	
	その他支出		145	68	3	77	産地指定メリットの支出項目変更による
	概算金以外の支出 計 (C)		1,240	1,350	1,477	-110	
	支出計 (D)		12,547	14,189			
	収支 (E = A - B - C)		1,274	1,010			
追加払い (精算) 額 (F)		800	540				
JA手数料 (G)		423	468				
翌年産繰越 (H = E - F - G)		51	2				

(注1) 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

(注2) 20年産米への繰越額は、19年産米の手取り額には反映されませんが、20年産米の精算財源に充当されます。

(注3) 事故処理経費の30円につきましては、JAごとにかかった経費は異なりますが、残額については生産者に戻します。

(注4) コシヒカリ以外の銘柄につきましては、JAへお問い合わせください。

以上